

塔中の怪無名氏

怪しの離れ島

地球の極にあり
汽船が港に着く間際蒸気機だか陰気な物すごい場所の
關の音絶えてはひびき響き様ではあるがそれでも港へ
ては絶え其のたびに号鐘カ着いたのだと思ふと何ん
ンと鳴スクルーのほたりも言へぬ愉快を感じた。
凄まじく泡立ち青い浪はシ
ヤボン／＼と敵をたゞいて
海風一陣又一陣船首甲板陸
は極めて廣いがその割合に
に向ふたゲン側では一等水
海水は浅いと見え私の乗
夫が高く右手をたはして測
てある海星丸はハトバから
鉛をなげ込みたぐり上げ海
餘程離れて停泊してゐる。
深を測りつゝ九尋半七尋半
と叫ぶ聲まことに悲壯なも
のである。
その悲壯な聲をききつゝ、私
の乗込んだ海星丸とて四千
噸ばかりの大きな汽船がボ
ボ／＼と雄獅子のほの
るやうな汽笛を鳴らしなが
らオーストラリア洲の南の
端の名からして黒面島とい
ふんだか物淋しい離れ島さ
しめて海岸の景色をながめ
のとある港灣にいかりを
ろしたのは過ぐる夏のはじ
めシーンとした夜の漸く明
放れる時分であつた。
本國横濱の港を出帆してか
ら茲に一週間餘りたゞさへ
つらき船旅の其大概は荒れ
通しに荒れたのでその苦し
さと息屈さは仲々一通り
や二通りでは無かつた。
長い航海をやつた諸君はお
察しでもあらうが明けても
暮れても水や空なる大海原
の浪にもまれて身も魂もつ
かれはた時忽ち山高く草
緑なる陸上の景色をながめ
た程真に心地のよいものは

無名氏

變つた事はないがたゞ不
議ともいふべきは其家とい
ふ家が皆雪のやうに白い事
である。家が白いばかりな
らよしが其邊の土地まで皆
白い、堤防も丘もハトバも
海濱の砂もそれは／＼氣味
西洋料理 丸昇軒
電話四三九番
の悪い程白し、折から太陽
の光が斜に其上を照すので
殆んど眼も明けれぬ程キ
ラ／＼と輝くのである。

滋養強壯劑

キナサフラン酒

飛ぶ様に賣れる

定價 小瓶二二〇 大瓶二〇〇 徳用瓶五〇〇

特約大販賣店 山野邊藥局

平町五丁目角

淋病消力チの妙藥

東京



峰岸淋丹

一週間分金二圓七十錢 二週間分金五圓 三週間分金七圓
御申込次第密送す

絶対にハゲヌ

コハレ又實用萬年食器
一度御使用願へば必ず再度の御注文を頂ける事
を疑ひませぬ

回製品目録!!!

茶托、吸物わん、煮物わん、汁わん、其他わ
ん類一式、菓子器、銘々盆、湯呑類、袴、盃
洗、盃、釣鐘盆、各種盆、夫二膳、辨當箱、
飯櫃、しやく子、巻葉入セット
◎其他各種製品豊富
◎何卒御来店の上御一覽下さい

東亞化學工業株式會社

平町一丁目

和久井屋漆器店

電話四〇五番

常磐線平町四丁目花信

附屬品卸
自動轉車商
自轉車商
自轉車商

葬儀社

電話五五〇番

特に勉強致します

有聲座の割引券あり
平白銀町 丸山雜貨店

特約店 大平屋藥舖

電話六四二番

回實感希望者は郵券廿錢封入左記本舖へ申込あれ
試用藥と浸透療法の小冊子を郵送す
大阪市此花區吉野町一丁目 吉松醫院製劑部



時計の御用は一直線に

ダイヤヤ堂へ

確實迅速親切廉價

時計眼鏡善音機貴金屬

ビクターレコード特約店

ダイヤヤ堂 鈴木時計店

福島縣平野前(新道)
電話(呼)八〇五番

御見合の御寫眞は

中島寫眞館

御婚禮の御寫眞は

洋食ハイツキ食堂
電話四六六

現代醫藥界の驚異

飲まずに治るコリサ浸透療法
肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療藥
外用 コリサ

論より證據百聞一見に不如

醫學博士 内野先生實驗 醫師 吉松先生發見

定價 金四拾五錢、金九拾錢 送料(内地)二錢

特約店 大平屋藥舖

電話六四二番